



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年5月10日
5年度第5号

去る5日（金）の地震にはドキッとしました。幸い荻生小学校の校舎内外に目立った影響はありませんでしたが、被害の大きかった地域の皆様は大変な毎日をご過ごしておられることだろうと思います。

荻っ子たちにとっても今回の地震は恐怖を感じる体験だったようで、8日（月）に登校してくるなり、「あのとき石川県にいたからけっこう揺れた」「1分間ほど揺れていたような気がした」「すごくこわかった」と口々に話してくれました。

改めて、日頃からいざという災害時に備えて準備しておくことの大切さを感じています。小さな子供にも、自分の命は自分で守ろうとする心構えとそのため具体的な行動の方法について、折に触れ繰り返し教え、考えさせておくことが大切です。今回の新聞記事やテレビのニュース映像は、そのための貴重な生きた資料です。各ご家庭でもいろいろと話し合ってみられてはどうでしょうか。

「新型コロナ」の5類移行を受けて…

3年余りの時を経てようやく、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行しました。感染時の学校の対応については、去る2日（火）に市教委から出された文書のとおりで、いわゆる季節性インフルエンザと同等の対応をとることになります。

このほか、本校ではこれまで登校時の校門付近で行っていた検温カードの確認を8日（月）の朝で終了しました。ただし、朝の検温はこれまで同様、できるかぎり習慣として続けていくことをおすすめします。各家庭で毎朝、家族ぐるみの体調チェックを行うことで、マスクの着脱に関する各自の判断もしやすくなるのではないかと思います（家族全員が平熱で健康だからマスクを外しても大丈夫、など…）。

5類に移行してもコロナが感染症であることには変わりありません。学校という集団生活の場で、いたずらに感染が拡大しないように、今後もお互いに気を付けていきましょう。

荻生小の新しいスタート！ 3年ぶりに縦割り班が復活しました

コロナの5類移行にタイミングを合わせるように、縦割り班活動も復活です。2日（火）の2限は「縦割り班結成式」でした。内容については、すでに学校HPでもお知らせしたとおりです。全校が16班に分かれて集まり、自己紹介ゲーム、じゃんけんゲーム、言葉集めゲームを行いました。どの班も、初顔合わせではあるもののワクワク・ウキウキ・ほのぼのと、楽しい時間を過ごしていました。

今回、3年ぶりの縦割り班活動に向け、高学年担任の高松先生と岡本先生が中心となって、班編成の調整、結成式の計画と進行、そして11日（木）から始まる「わんぱくタイム」（縦割り班での運動遊びタイム）の準備と、さまざまな内容を精力的に、かつアイデア満載に作り上げました。校長としては、半年ほど前から思っていた「縦割り班活動を復活させたい」という願いを、これほどまでにしっかり形にしてもらい「感謝！感謝！」の一言です。そして、結成式での仲良く楽しそうな子供たちの様子を見てみると、荻生小学校の新たなスタートのように感じました。縦割り班の枠を生かし、これからさまざまな取組が工夫されることを期待しています。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

.....
校長室だより第5号への感想
年 児童名

ランチルームでの全校給食も再開です

今週からランチルームでの全校給食も再開しました。縦割り班をベースに座席や当番を決めて動けるように、給食担当の平野先生が中心となって細かい計画を立てました。本当にお疲れ様でした。

初日の8日(月)は4限の後半から3～6年生がランチルームに集まり、当番の動きを皆で確認し、そのまま給食準備へとなだれこみました。それぞれが自分の役割を確かめながら真剣な表情で仕事をしていました。全校が席に座ると、かなり混み合った感じになりましたが、食べ始めてしばらくは食べることに集中して静かに、そのうち少しずつ会話が増えて(それでも皆、わきまえたようにほどの音量でした)、楽しい時間となりました。本当に久しぶりの給食の光景だと感じ、新鮮な気持ちもいっしょに味わいました。

シリーズ「教室におじゃまします」5/8(月)4年国語科の巻

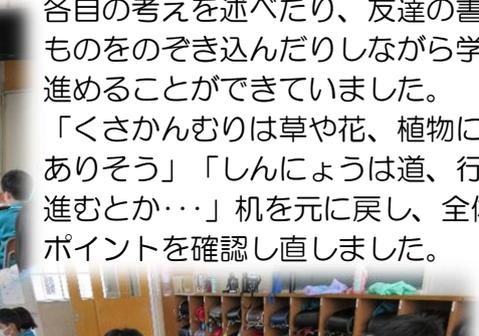
フレッシュなフレッシュな松島圭吾先生。元気いっぱいやんちゃな4年生に時間の始まりのあいさつをしっかりすることを大事に伝えながら授業が始まりました。この日は前の時間からの続きで「漢字の組み立て」の学習でした。

漢字のうち、大まかな意味を表す部分に注目します。「かんむり」「によろ」「たれ」「かまえ」等、それぞれに「くさかんむり」「うかんむり」等々、具体的な名前(つまり「部首」の名前)

のものがいろいろあります。そのそれぞれがどのような意味をもつのかを考える時間でした。松島先生は子供が集中して取り組めるようにタイマーで時間を計りながら1人学習の時間やグループでの時間をメリハリをつけて区切っていきました。また、ポイントを絞ってまとめができるよう、自作のワークシートを用意し、子供たちに考えを書き込ませていました。

グループになってしばらくはもじもじしていた子供たちも徐々に自然に各自の考えを述べたり、友達の書いたものをのぞき込んだりしながら学習を進めることができました。

「くさかんむりは草や花、植物に関係ありそう」「しんによろは道、行くと進むとか…」机を元に戻し、全体でもポイントを確認し直しました。



おまけの<ひとこと> マスクも先月から「自己判断」となっているのですが、まだまだ着用している子の方が多いようです。私自身は元々メリハリをつけてマスクの着脱をしてきた方なのですが、それでも至近距離で子供と対面するときは絶対マスク!でした。しかし、4月以降は意識してなるべくマスクを外すようにしています。以前ある教育委員さんとお話をしていたときに、「影響力がある人が意識してマスクを外していくことが大事」と言っておられたことが頭に残っているからです。その分、今まで以上に日頃の体調管理には気を付けたいといけません。実は4月から、1本100円以上する某乳酸菌飲料も毎日飲んでおります…。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第5号への感想

年 児童名